

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	89	学校名	仙台市立七北田小学校	校長名	石川 智之
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「目指そう！エコ・スクール七北田小学校」



2 取組の紹介

SDGs の視点から自分たちのくらしを見直そう

○残食を減らそう

給食委員会では、給食週間の活動の一環として、「残食をへらそうキャンペーン」を行いました。給食を下膳する度、毎日たくさんの食品が残食として廃棄されていることに目を向け、委員会の児童から提案された活動です。前の週と比較をして、残食の量が減っているかどうかを主菜・副菜・牛乳等分けて調べました。結果を昼の校内放送や、昇降口に掲示して、全校児童に知らせることによって、「一口でも多く食べよう」「残さず食べて食品ロス減らそう」という意識につながりました。



○ペットボトルキャップの回収

福祉・JRC 委員会では、ペットボトルキャップや牛乳パック・ベルマークの回収を行っています。昇降口前に回収ボックスを設置し、各家庭から持参したキャップやパック等を仕分けし、回収しています。集まったキャップを使いリサイクル・アートにも取り組み児童会行事「ゆめフェス」で展示しました。集まったキャップは、プラスチックのリサイクル製品や、世界中の子どもたちを救うワクチンの購入等の活動に役立てられます。



○古紙回収

環境委員会では、各クラスに段ボールのボックスを配付し、古紙回収に取り組んでいます。古紙を種類別に分けて束ね、リサイクルしやすいように分別しています。教師も児童もリサイクルへの意識が高まっています。

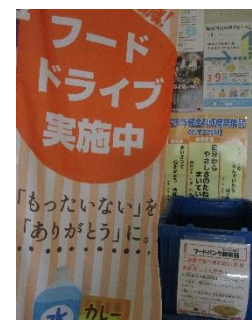
○リサイクルプランター

緑化委員会では、家庭から回収したプラスチックごみを原料として製造されたリサイクルプランターを活用し、花を育てました。給食の生ごみ等をリサイクルし堆肥にした「杜のめぐみ」も併せて使用することで、実際にリサイクルされた新しい製品に変わり、生かされていることを実感することができました。秋には1年生がチューリップの球根を植え、春に花が咲くことを楽しみにしています。



○フードドライブ

まだ食べることができるにもかかわらず捨てられてしまう食品ロスを削減するために、家庭などで余っている食品や食べきれない食品を持ち寄り、回収しています。ボックスを昇降口に設置し、学校に来校する地域の方や職員等からたくさんの食品が集まりました。



3 取組の成果

持続可能な社会を目指すために、何をしたらよいのだろうか。自分にはどんなことができるだろう。自分たちの身の回りの事象に関心を持ち、一人一人の小さな行動の積み重ねが大切であることが分かりました。紙やプラスチックのごみのリサイクルから環境問題に関心を持ち、給食の残食から食品ロスをなくそうと努力する小さな一歩になり、環境に優しい生活を意識することができました。